

# 平成30年度事業結果報告

## 概 要

30年間の『平成』の最後の1年となりました。この30年間は、コンピューターやインターネットの進歩が情報革命をもたらしました。また、大きな戦争こそ有りませんでした。地球環境変化から大きな自然災害も多発した、まさに激動の時代となりました。

昭和45年に高齢化社会に突入した我が国にあっては、少子・高齢・人口減少が生み出す社会人口構成の歪みが、極端な労働力不足や社会保障制度の根幹を揺るがし、望むべき国の成長を阻害していることが顕著になってきております。

この閉塞を打開する為、私達高齢者自身が年齢に関係なく、自らの健康、生きがいを求めて働くこと、「生涯現役で、社会の担い手となる」ことが正に求められています。そして、私達のシルバー人材センター事業は、この生きがい就業を率先して実践する組織であったはずですが、残念ながら全国の多くのセンターでは、この機能を十分に生かすことが出来ず、特に近年は会員数の減少を続けています。

このような中、常に会員数を増やし、喫茶『チエブクロー』や作業所『ハッピーエール』オープン等の新規事業を創出し、派遣を中心に事業実績を大幅アップし続けてきた当センターは、シルバー人材センター事業の成功事例『かどまモデル』を構築し、より戦略的な事業のイノベーション事例を全国発信してまいりました。

それでは以下のとおり、具体的な活動内容を報告します。

- 【1】会員数を増やす取組みとして、市民への周知のため、「魅せる広報」をキーワードに活動を行いました。また、積極的に市広報紙や民間のタウン誌等に、具体的活動内容を掲載し、ホームページの刷新や会員口コミ勧誘の推進等、広く入会説明会への勧誘を行いました。
- 【2】就業機会を拡大する取組みとして、請負・委任による就業・労働者派遣事業・職業紹介事業の基本3業務を有効に活用し、多様な職種の開拓に努めました。また、当センター独自の事業として、「介護保険事業」・「総合福祉事業」等の介護分野、「弁天池公園」の市指定管理、喫茶「チエブクロー」・地域交流サロン「つどエール」・「福祉有償運送」「市民貸農園」に加え、新たに作業所「ハッピーエール」・「伝統野菜（レンコン）、（クワイ）栽培事業」を実施し、新たな会員の就業機会の拡大に努めました。
- 【3】普及啓発活動を推進する取組みとして、センターが主催する「弁天池公園スプリングカーニバル・ふれ愛感謝祭」、「シルバー便利やDay」を開催し、事業の普及啓発に努めました。また、各種団体と連携し、市内外で開催される多くのイベントの実行委員会にも参画し、「第2回ふるさと門真まつり」「プラザ de 門真もん市」「古川橋ラブリーフェスタ」「かどま市スポーツ・レクリエーションフェスティバル2018」など、センター会員の動員力を生かし、地域活性化を支援しました。

また、大阪マラソンや各種イベントの運営協力、清掃奉仕活動など、積極的なボランティア活動を実施しました。

【4】公益社団法人としてのガバナンスの徹底を図る取組みとして、法令に基づく事業運営に努めました。また、センター諸規程の適正化と整備に努めました。

【5】安全・適正就業を推進する取組みとして、門真警察署の協力を得て「自転車安全講習会」や安全就業推進委員による「安全パトロール」を実施し、無事故就業の推進に努めました。また、適正就業特別研修会による就業の質・モラルの向上を図ると共に『適正就業ガイドライン』の周知徹底に努めました。

【6】法人組織の活性化を目指して、理事会を中心とした組織運営を目指し、「組織」・「就業開拓」・「普及啓発」の専門部会を中心に、個々に組織した委員会と連携し、「会員を増やす」・「就業機会の拡大」・「普及啓発活動の推進」に努めました。また、迅速な事業運営を図るため、毎月の「三役部会長会議」にて情報共有に努めました。

【7】描け未来、次の十年の取組みとして、中長期計画『設立40周年へのマスタープラン』の進捗を検証し、次期中長期計画の策定の準備と設立40周年記念事業に向けて実行委員会を立ち上げました。

なお、具体的な事業数値目標に対する結果及び具体的に実施した事業については、以下のとおり報告します。

## 1. 事業数値目標に対する結果

本年度の数値結果に対して、以下の結果となりました。

	事業数値目標	平成30年度結果	達成率 (%)	対前年
①正会員数	1,800	1,675	93.1	+24
入会説明会参加者 (人)	320	305	95.3	-45
新入会員数 (人)	280	238	85.0	-42
退会会員数 (人)	—	214	—	-47
②契約件数 受託事業 (件)	6,500	5,495	84.6	-445
派遣事業 (件)	320	276	86.3	+25
③契約金額 受託事業 (千円)	425,000	421,841	99.3	-3,159
派遣事業 (千円)	258,000	248,058	96.2	+49,186
④就業率 受託事業 (%)	97.0	90.7	93.5	-1.2
⑤就業実人員受託事業 (人員)	1,350	1,345	99.7	-5
派遣事業 (人員)	400	421	105.3	+75

## 2. 具体的に実施した事業

## 【1】会員数を増やす

1.入会説明会は、以下のとおり開催しました。

- ①センター大会議室 24回開催 参加者数228名
- ②市民プラザ 12回開催 参加者数 77名

2.高年齢者参加イベント開催による普及啓発については、日程都合が合わず開催を中止しました。

3.専門部会、各委員会及び同好会の協力を得て、各種イベント開催時にPRブースを設け積極的に、入会の促進を図りました。

- ①シルバー便利やDay 23回開催
- ②出張便利やDay 3回開催（府営御堂住宅）
- ③弁天池公園スプリングカーニバル 4月29日開催 来場者数5,415名
- ④弁天池公園ふれ愛感謝祭 11月23日開催 来場者数3,852名
- ⑤弁天池公園ふれ愛イベント 2回開催

4.積極的な会員による入会促進活動を実施しました。

- ①紹介キャンペーン「会員さんいらっしゃーい活動」入会者数5名
- ②シルバーフレンドリーショップ 参加協力店 60店舗

5.市広報紙にて会員募集の記事を掲載しました。

- ①会員募集記事の掲載 3回実施
- ②機関紙『門真市シルバー人材だより』（市広報紙折込全戸配布）1回実施

## 【2】就業機会を拡大する

### (1) 就業の種類・量の増強

1.受託事業（請負・委任による就業）

①受注開拓に励みましたが、結果として、前年度実績を上回ることが出来ませんでした。

#### 技能群

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
H30年度	3,620	1,147	36,513
H29年度	4,320	1,145	37,536
前年対比達成率（%）	83.7	100.1	97.2

#### 軽作業群

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
H30年度	54,604	1,087	178,821
H29年度	53,829	1,044	183,965
前年対比達成率（%）	101.4	104.2	97.3

②既存の請負・委任契約の内容を再点検し、適正を図りました。

会員就業の技能向上のため、当センター独自で除草講習会を開催し、37名の会員が受

講しました。また、河北地区ブロック主催の植木剪定講習会に3名の会員が参加しました。

## 2.労働者派遣事業

- ①本年度は、特に運搬・清掃・包装の職業分野と輸送・機械運転の職業分野の契約額を伸ばす事が出来ました。また、サービス分野（人材不足分野の子育て）については、積極的な就業開拓に努めました。

### 運搬・清掃・包装の職業分野

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
H30年度	16,842	112	97,476
H29年度	12,340	76	65,993
前年対比達成率（%）	136.5	147.4	147.8

### 輸送・機械運転の職業分野

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
H30年度	8,354	50	46,107
H29年度	6,578	42	29,505
前年対比達成率（%）	127.0	119.1	156.3

### サービス分野

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
H30年度	9,704	55	41,845
H29年度	7,232	54	32,050
前年対比達成率（%）	134.2	101.9	130.6

- ②派遣就業の会員に対し、キャリアアップ講習（225名受講）、入職研修（105名受講）等の派遣研修会を実施しました。

## 3.職業紹介事業

直接雇用を希望する発注者及び会員に対し、職業紹介を2件実施しました。

## 4.訪問介護事業・総合福祉事業

介護保険事業・地域支援事業・福祉有償運送事業・地域サロン事業、福祉家事援助サービス等をまとめて実施できる総括福祉事務所を目指しました。

また、介護保険訪問介護事業に従事する会員に対し、年間12回延べ113名のヘルパー研修会を実施しました。

地域貢献事業として、福祉有償運送事業、地域交流サロン事業を継続しました。

平成30年度実績（訪問介護事業・総合福祉事業）

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）

訪問介護事業	2, 137	240	6, 514
総合福祉事業	1, 091	189	2, 120
計	3, 228	429	8, 634

## 5. 指定管理事業

弁天池公園の指定管理事業者として、適正な運営管理に努めました。また、過去5年間の優秀な指定管理業務が評価され、また、平成31年から新たに5年間の指定管理事業者を選定されました。

また、老人福祉センター施設の指定管理事業に応募しましたが、選外となりました。

## 6. 独自事業

公益性の高い取組として「福祉有償運送」や「市民貸農園」の事業や、センターが運営する喫茶「チエブクロー」や地域交流サロン「つどエール」の事業継続に努めました。

## 7. 地域就業機会創出・拡大事業

地方公共団体や商工団体等と連携して、地域企業の雇用問題の解決、地域企業の活性化、地域社会・経済の維持・発展等につながる新たな就業機会を創出する事業として「伝統野菜栽培促進活用事業」、「福祉作業所で育児支援・地域交流・世代間交流活性化事業」を実施しました。

### 伝統野菜栽培促進事業

	就業延人員（人日）	契約金額（千円）
H30年度（目標）	350	350
H30年度（実績）	336	41
前年対比達成率（%）	96.0	11.8

### 福祉作業所で育児支援・地域交流・世代間交流活性化事業

	就業延人員（人日）	契約金額（千円）
H30年度（目標）	660	384
H30年度（実績）	684	989
前年対比達成率（%）	103.7	257.6

## (2) 就業の質の向上

### 1. 技能研修会の参加

大阪府シルバー人材センター協議会河北ブロック地区主催の植木剪定技能講習に2名の会員が参加しました。

また、センター独自で除草講習会を開催し、14名の会員が受講しました。

### 2. 調査・研究

生きがい就業のエビデンスを取る為、公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団との共同

研究事業『健康生活アンケート』に906名の会員に協力いただきました。

在会5年及び10年の会員に『聞き取りアンケート』を実施し、会員情報の更新と会員意識調査を実施しました。

また、就業機会の創出の為、お客様アンケートや満足度調査等を実施し、現況の把握と利用拡大策の指針としました。

### 【3】普及啓発活動を推進する

#### (1) イベント開催・参画

##### 1. センターが主体とするイベントの普及啓発活動

4月29日開催の弁天池公園スプリングカーニバルに5,415名、11月23日開催のふれ愛感謝祭に3,852名の市民の参加があり、過去最高来場者数を記録しました。

また、毎月第1、第3月曜日に市役所別館及びセンター事務所前で開催の「シルバー便利やDay」を開催し、多くの就業の提供と会員拡大に努めました。

##### 2. イベント趣旨に協賛し、実行組織に参画して実施する普及啓発活動

年間12回「プラザ de 門真もん市」を開催、「第2回ふるさと門真まつり」、「かどま市スポーツ・レクリエーションフェスティバル2018」「古川橋ラブリーフェスタ」・「金魚すくい選手権大会」等他組織と協力し、普及啓発活動に参加しました。

##### 3. 他団体が行う事業に賛同して普及啓発活動

「アズ&大真トップ名店街夏祭り」「文化会館ふれあい祭り」「かどまエコフェスティバル」「音楽とエコキャンドルナイト」「ふれあいウォーキング」等に参加協力し普及啓発に努めました。

#### (2) 広報活動

10月号の市広報紙に折込で、機関紙「門真市シルバー人材だより」を市内全戸配しました。また、マスメディアを活かした活動として、週刊大阪日日新聞にシルバー会員の就業紹介記事掲載やケーブルテレビ【J-COM】やラジオ【FMハナコ】に出演し、積極的に広報活動に取り組みました。

#### (3) ボランティア活動の推進

協働できる団体や市民と連携を図り、毎月第1、第3土曜日開催の清掃ボランティア活動等を年23回開催し、延べ1,568名の会員が参加しました。また、残念ながら、地域ブロックを中心とした清掃ボランティア活動については、雨天中止となりました。

また、地域の安全防犯のボランティア活動として、毎週金曜日に青色防犯パトロールを年間36回実施しました。

イベント運営ボランティアとしては、第2回ふるさと門真祭りに90名の会員が自転車整理や案内誘導ボランティアスタッフとして協力しました。「大阪マラソン」に60名の会員が沿道の案内誘導等に協力しました。

#### (4) フレンドリーショップの活用

会員の割引特典を受けれる「フレンドリーショップ協力店舗」を市内60カ所に協力

を得ました。

#### 【4】公益社団法人としてのガバナンスの徹底を図る

- (1) 法令遵守と諸規程の整備、遵守に努めました。  
理事会への審議案件数32件中32件を可決承認議決しました。
- (2) ホームページの掲載、事務所掲示板への開示等、広く情報公開に努めました。
- (3) 個人情報保護方針に基づき、特定個人情報管理責任者を配置し、適正な個人の保護に努めました。

#### 【5】安全・適正就業を推進する

- (1) 無事故就業の推進  
安全就業推進委員による安全パトロールや事故内容の検証、事故事例の公開を行いました。また、門真警察署等の協力のもと、自転車運転講習会の開催や自動車運転講習会を実施した結果、無事故にはできませんでしたが、傷害事故件数1件、賠償事故件数1件と前年を大幅に下回る事故件数となりました。
- (2) 適正就業の取り組み  
適正就業ガイドラインの周知徹底とモラルの向上・就業の質と適正化を図るため、全会員対象とした適正就業特別研修会を開催した結果、1,216名の会員が受講をしました。

#### 【6】法人組織の活性化を目指す

- (1) 組織、就業開拓、普及啓発の3専門部会を組織し、活性を図りました。
- (2) 役員改選等にあたり、新たな人材を登用し、適材適所の人員配置を図りました。
- (3) 組織専門部会の所管に、新たに女性活躍委員会を組織し、女性会員の獲得・就業・技能向上を目的とした運営に取り組みました。
- (4) 普及啓発部会が所管するイベント推進委員会を組織し、様々なイベントの参画を図りました。
- (5) 職域班を整備し、事務の合理化・見積金額の統一・技能のレベルアップ等の諸問題点の解決を図りました。
- (6) 理事体制の活性化を図りました。  
理事会を中心にした法人運営を図りました。また、より迅速な事業運営を図る為、三役部会長で情報の共有化に努めました。
- (7) 事務局体制の充実を図りました。  
事務局体制を整備し、効率的な事務処理と、理事会の決定に従った事業運営並びに会計基準に基づいた適正な会計処理に努めました。

#### 【7】描け未来、次の十年へ

- (1) 設立40周年記念事業準備会を、設立40周年記念事業実行委員会に改編しました。
- (2) マスタープラン推進委員会を中心に中長期計画『設立40周年へのマスタープラン』の進捗状況の検証をしました。
- (3) 第2期中長期計画の策定に着手しました。